

レンゴー株式会社に対するシンジケーション方式による グリーンローンへの参加について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、レンゴー株式会社（代表取締役社長兼COO 川本 洋祐、以下「当社」といいます。）に対するシンジケーション方式によるグリーンローンへ参加しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行では、今後とも、お取引先企業の多様な資金調達ニーズに積極的に対応し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 案件概要

借入人	レンゴー株式会社
アレンジャー	三井住友銀行
契約日	2022年7月27日
実行日	2022年7月29日
組成金額	50億円（当行5.9億円）
期間	8年
参加金融機関	当行、他11行
資金使途	①バイオマスボイラおよびRPF（※）製造設備の新設資金 ②木材由来の100%生分解性素材であるセルロース微粒子プラントの新設資金

※ Refuse paper & Plastic Fuelの略称であり、主に産業系廃棄物のうち、マテリアルリサイクルが困難な古紙及び廃プラスチック類を主原料とした高品位の固形燃料のことを指します。

2. 当社グループについて

当社グループは、1909年（明治42年）に段ボール事業を創業以来、あらゆる産業の全ての包装ニーズをイノベーションする「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」= GPI レンゴーとして、より少ない資源で大きな価値を生むパッケージの開発に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献しています。近年は、中期ビジョン「Vision115」のもと、事業活動に伴う環境負荷の低減にグループ全社を挙げて取り組んでいます。

3. グリーンローンについて

（1）グリーンローンは、各種原則等における国内外のグリーンプロジェクト（環境改善効果のある事業）に要する資金を調達する際に用いられ、調達資金の管理や融資実行後の環境改善効果等のレポートを通じて、透明性が確保されるローンです。

(2) 本グリーンローンは、国際金融業界団体のLMA (Loan Market Association) 、LSTA (Loan Syndications and Trading Association) 及びAPLMA (Asia Pacific Loan Market Association) にて策定された「グリーンローン 原則 (2021年版)」及び環境省にて策定された「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン (2020年版)」との適合性について、第三者機関である株式会社日本格付研究所 (JCR) から「セカンド・パーティー・オピニオン」を取得しています。

(参 考)

「セカンド・パーティー・オピニオン」の詳細につきましては、株式会社日本格付研究所 (JCR) ホームページをご参照下さい。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

(関連するSDGs)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言 ~もっと、ずっと、地域と共に。~」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月より「SDGs実践計画」を策定しております。

以 上